

令和2年度 小学部の教育目標及びめざす児童の姿と重点事項

学校教育目標	「子供たち一人一人の夢や希望の実現に向けて」 ～すべては子供たちの幸せのために～ 児童生徒の生命と人権を守り、一人一人の教育的ニーズや特性、能力等に応じたきめ細やかな教育を行い、自己の持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、「生きる力」をはぐくみ、自立や社会参加に向けて、「明るく、仲良く、元気よく がんばる子」を育成する。
学部教育目標	一人一人の教育的ニーズや特性、能力等に応じたきめ細やかな指導・支援を行い、身の回りの様々なことに興味・関心を広げ、日常生活の基本的な習慣を身に付けた児童を育成する。

学校がめざす児童生徒像	学 部 が め ざ す 児 童 の 姿 と 重 点 事 項	
心身共に健やかな児童生徒	1	笑顔にあふれ、元気に活動する児童
	重点事項	(1) 児童の健康状態を常に把握し、健康な状態で学習ができるようにする。医療的ケアにおいては安心安全に実施できるよう留意し、充実した学習指導がすすめられるようにする。 (2) けがや事故を防止する環境づくりに取り組み、「ヒヤリ・ハット」の集約、共通理解を図り、安全確保に努める。 (3) 学校生活を通して体力や気力の保持増進を図り、健康に過ごせるようにする。
発達に応じた知識や技能を身に付けた児童生徒	2	身の回りのことが自分でできる児童
	重点事項	(1) 職員相互、保護者及び関係機関との連携を密にし、一貫性のある指導を行う。 (2) 自立活動の指導の充実を図り、児童が主体的に学習をしたり、生活を送ったりすることができるようにする。 (3) 教育活動全般を通して、生活年齢や発達段階に応じた「性に関する指導」の充実を図る。 (4) 教材・教具を工夫したりICT教材等を積極的に取り入れたりして、指導法を改善する。
様々なことに興味・関心を持ち、自らかかわる児童生徒	3	興味・関心を広げ、自分でやってみようとする児童
	重点事項	(1) 児童の障害特性の理解や発達段階等の把握に努め、「自己指導能力」を育成する指導・支援に取り組み、新学習指導要領を踏まえた授業の改善と充実に生かす。 (2) 人との関わりを深め、生き生きと活動するために、言語、サイン、カード、指さし等の手段を利用して意思表示をする機会を多く作る。 (3) 人や自然との触れ合いを通して、日常生活の事柄について興味・関心を広げ、体験的な活動を通じて児童の「やりがいや生きがい」を醸成する。 (4) 校外での学習、スクーリングの充実に努め、経験の拡大を図る。
家庭や地域で、自分の力やよさを発揮する児童生徒	4	周りの人と関わりながら、生き生きと活動する児童
	重点事項	(1) 決まりを守り、友達や周りの人と仲良く行動できる態度を養うことができるようにする。 (2) 学級での係活動や学校の委員会活動等の内容や参加方法を工夫して、主体的に活動できるようにする。 (3) 学校間交流や居住地校交流を通して学校外や地域の人との関わりを深め、活動できるようにする。 (4) 計画的にスクーリングを実施し、子供同士の関わりを深められるようにする。